

# 緑の相談所だより

No. 119

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所  
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 電話 0166-65-5553

発行:平成 21年 8月 1日

## 講習会のご案内

### 「秋から冬に向かっての鉢物管理」

とき 平成 21年 9月 5日(土)  
PM 1:30~3:30 定員 20名  
講師 相談員 伊藤 征夫  
場所 東豊公園体育館

### 「秋から冬に向かっての鉢物管理」

とき 平成 21年 9月 6日(日)  
PM 1:30~3:30 定員 20名  
講師 相談員 伊藤 征夫  
場所 永山中央公園管理棟

### 「神楽岡公園自然観察会」

-秋の野草を観察しよう- (親子、一般)  
とき 平成 21年 9月 13日(日) 定員 30名  
PM 1:30~3:30  
講師 旭川帰化植物研究会  
代表 塩田 惇さん

### 「キノコの学習会」

-おいしいキノコと毒キノコ-  
とき 平成 21年 9月 20日(日)  
PM 1:30~3:30 定員 50名  
講師 旭川きのこの会  
相談役 山 晋さん

### 「楽しいガーデニング」(実習)

-ビオラと春咲き球根の寄せ植え-  
とき 平成 21年 9月 27日(日)  
PM 1:30~ 3:30 定員 20名  
講師 相談員 芝山 一雄  
教材費 600円

☆お申込みは

8月中旬から  
65-5553まで



## 展示会のご案内

「押し花展」出展:つくしんぼサークル  
平成 21年 8月 2日~31日

「旭川植物画サークル展」  
平成 21年 8月 2日~31日

「花壇コンクール写真展」  
平成 21年 9月 1日~17日

「バラ展」出展:旭川バラ会  
平成 21年 9月 18日~20日

「キノコ展」:出展:旭川きのこの会  
平成 21年 9月 18日~20日

☆ 4月から10月は第2・4月曜日が休館日です。

☆ 11月から3月は毎週月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

## 8月の園芸作業

### 1 鉢花類

ユリのオリエンタル系（カサブランカ等）やグラジオラスは、花が終わったら花柄を摘み、放置しておくことで種が付き球根が肥大しません。また、花後は球根肥大の為に追肥しましょう。

シャコバサボテンは8月以降に出た新芽（茎節）をこまめに摘み取りましょう。

観葉植物は6月に引き続き、植替え、挿し木、株分け、取り木の適期です。植替え用土は赤玉5、腐葉土3、火山礫2の混合土が一般的です。

シクラメンは下旬頃、新しい用土に根鉢の周り3分の1程削り植替えましょう。

### 2 庭木・果樹類

リンゴ、ナシ、サクランボ、スモモ等の立ち木の果樹は、側枝から空に向かって垂直に伸びる枝（徒長枝）が発生しますので、元から切り取りましょう。

（夏剪定）

ツツジ等は既に花芽ができていますので樹冠から飛び出した新梢だけを切り戻し樹形を整える程度にしましょう。

甘いブドウをつくる為には葉に太陽の光を十分当てる必要があります。枝が重ならないよう誘引し、葉の付け根から出る副梢（わき芽）は2～3枚残して切り取りましょう。

長年放置されたアカマツ等の剪定は一度に強い剪定は出来ませんので数年かけて整枝剪定しましょう。

### 3 洋ラン類

デンドロビウム（ノビル系）は昼夜の温度差が大きくなるにつれて成長が鈍くなりそれに伴ってバルブが太ってくると、今年伸びたバルブの先端に小さな葉が1枚つきます。これを『止め葉』と呼び、この時から肥料を一切与えず水やりも控えましょう。

シンビジウムは上旬には置き肥を止め、週1回の液肥に切り替え水やりと、日光によく当てましょう。

カトレア類のシーズが出かかった株は追肥を中止し、戸外の鉢は12℃を目処に入室しましょう。

## 9月の園芸作業

### 1 草花・球根・鉢花類

スイセン類、クロッカス、シラー等の球根は中旬から下旬に定植しましょう。

インパチェンス、アキランサス、コリウス、ガザニア等の花壇の草花の一部を鉢上げし春に備えましょう。カンナ、アマリリス、ダリアは霜が降る前に掘上げ、無暖房の室内等で管理しましょう。

シャクヤク等の宿根草や花後に出来なかったジャーマンアイリスの株分け、植替えをしましょう。

アザレアは開花準備時期です。肥料を止め、しっかり水やりしましょう。

クンシランは水やりを止めてしっかり低温に当てましょう。

ポインセチアやハイビスカス等の耐寒性のない鉢物は9月中旬には入室しましょう。

### 2 庭木・果樹類

西洋シャクナゲ等、寒さに弱い花木にはカリ肥料（硫酸カリ）を与えましょう。

生け垣、玉物等新芽が伸びて不揃いになったものは随時刈り取りましょう。

イチイ、マツ類の剪定は9月中に終わらせましょう。

ポタンは植え付け移植の時期です。気温が下がってくると地際近くから新根が出始めますので、リン、カリ肥料を施肥し、自根を出させるために5～7cm位土寄せしましょう。

### 3 洋ラン類

デンドロビウム（ノビル系）は最低気温10℃程度なら

戸外に置いて管理しましょう。ただし、朝の気温が7℃～8℃になったら入室し、暖房のない明るい窓辺で管理しましょう。（夜間10℃、昼間20℃が適温）

シンビジウムはバルブの充実期、最低気温10℃程度なら戸外に置きましょう。



# 植物の病害虫

## その5 「カイガラムシ類」

### ○ 被害

葉や茎、枝などに綿状の塊、あるいはロウ状の塊が多数付着します。虫の出す排泄物が葉や茎の上に付着して茎や葉が黒く汚れたり、枝が先端部から枯れ込んだりします。

### ○ 種類

多くの種類がありますが、主なものは次のようにグループ分けされます。

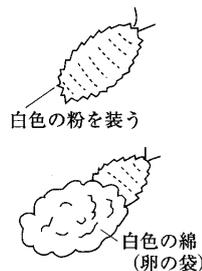
- a. マルカイガラムシ類：貝殻を思わせる平べったい殻をかぶっているもの。
- b. ロウムシ類：白や褐色のロウで覆われているもの。
- c. コナカイガラムシ類：殻をかぶらず、体に白い粉をつけ、足で自由に移動するもの。
- d. ワタカイガラムシ類：白いひも状のものを分泌するもの。
- e. フクロカイガラムシ類：白い袋状の殻をかぶっているもの。
- f. カタカイガラムシ類：褐色の丸い殻をかぶっているもの。

### カイガラムシのいろいろ

マルカイガラムシ類



コナカイガラムシ類



ロウムシ類



フクロカイガラムシ類



### ○ 生態

雌と雄では全く異なった生活をします。雄は成虫 → 卵 → 幼虫 → 蛹 → 成虫（翅がある）、雌は成虫 → 卵 → 幼虫 → 未成熟成虫 → 成虫（翅と脚が退化して動けない）を年に1～3回繰り返し、年中姿が見られます。冬の間はじっと眠った状態で過ごします。ふ化した幼虫は、殻の下から這い出して四方にひろがりますが、ひろがる範囲は狭く成虫のいた付近の葉や枝程度です。しかし、小さくて軽いため、風に乗って飛行し遠距離移動することもあります。汁を吸い出した幼虫はやがて脚が退化して二度と移動することはできなくなります。ただし、コナカイガラムシは成虫になっても脚があり自由に歩き回れます。雄になる幼虫は成長すると白色のロウ状の粉を被った蛹になるので、虫がついた葉や枝は真っ白になることがあります。その後、翅を持った雄成虫が羽化して、雌成虫を求めて飛び立ちます。

### ○ 防除

カイガラムシの防除がむずかしいのは、卵や虫体が蠟物質に覆われているため、薬剤を散布しても蠟物質によって遮断され薬液が虫体にかかりにくいことと、成虫やその卵囊から生まれてくる幼虫は発生が始まってから順次発生し、その期間は長いものでは数週間に及ぶものもあり、いろいろな発育ステージの幼虫が混在しているためです。

以上のようなことから、カイガラムシの防除には、幼虫の発生時期を的確に把握して、虫体に被覆物が十分に形成しない幼虫（発生期は5～9月と種類によって異なる）がピークになる時期に防除を行うことが大切です。

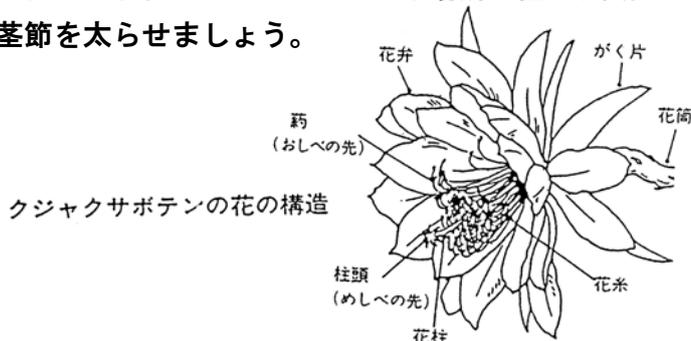
# 真夏の太陽をしっかりと当てよう

## 1. アデニウム（サバクのバラ） キョウチクトウ科

サバクのバラという呼称のとおり、太陽の光をよく当てることで周年咲かすことができます。外で育てると結実し種子をとることができます。

## 2. クジャクサボテン(サボテン科)

サボテンの名のとおり、日光を好むので少なくとも半日以上は日の当たる場所に置き、表面が乾いたらたっぷり水をかけ、肥料もやり、茎節を太らせましょう。



## 3. ハイビスカス（アオイ科）

熱帯の花として有名でハワイアン系以外ヨーロッパなど 300 種以上の種類があるといわれています。ハワイ育ちということで太陽の光を好みますのでよく日に当てましょう。表面が乾いたらたっぷり水やりし、水が切れるとつぼみが落ちます。肥料もしっかり与えましょう。

## 展示室の植物たち（26）

### 月下美人（ゲッカビジン）

サボテン科エピフィラム属

20 種前後ある原種のクジャクサボテンの中の 1 種。メキシコ、ブラジルなどの森林(ジャングル)地帯に自生する着生種。夏の間に開花（3～5日）し、夜 8 時から開花し、2 時間ほどでしぼみません。大輪白色で強い芳香をはなちます。

#### 下美人とクジャクサボテンの主な違い

	株の姿	茎 節	花 期	開 花	花のようす
月下美人	大形	肉うすく光沢を出す シュート(枝)を出す	5～10月	夕方から夜に開花 朝しぼむ	真っ白な大輪、 芳香
クジャク サボテン	小形	肉厚 くすんだ色合	5～6月 中心	夕方から夜にかけて 開花し、2～3日は 咲き続ける	花色は豊富 香りは弱い